



地域おこし協力隊活動日誌 vol.18

イベント「竹で『スター☆ドーム』を作ろう」を開催



試作したスター☆ドーム

飛雪の滝キャンプ場では11月3日(土)、イベント「竹で『スター☆ドーム』を作ろう」を開催します。

スター☆ドームとは、身近な素材の竹を使って作る半球形のドームのことをいいます。幅3~5cm、長さ9mの竹のフレームを計15本使用し、半球状に組み立て、フレームの交差する形が星状になることから「スター☆ドーム」と名付けられました。

7月にもイベントを企画していたのですが、残念ながら雨で中止となり、今回はリベンジです。試作を行ったところ自分で言うのもなんですが、かなりいい仕上がりになりました。

竹で作るスター☆ドームの1番の特徴は、誰でも簡単に作れるということです。小学生のお子さんでも親子で参加いただければ十分に楽しんでいただける内容です。

詳しくは次のとおりです。ぜひご参加ください。

- 【日時】** 11月3日(土) 午後1時~5時
※雨天時は翌日 午前9時~午後1時
- 【場所】** 飛雪の滝キャンプ場 広場
- 【定員】** 20人
- 【参加料】** 無料

▶詳しくは、飛雪の滝キャンプ場(☎21-1333)までお問い合わせください。

高度処理型浄化槽は、単独の16倍の処理能力
町営浄化槽整備推進事業で設置している浄化槽は、「高度処理型浄化槽」として、従来型の合併処理浄化槽よりも処理能力が優れた浄化槽を採用し、町の水環境の保全に努めています。
この浄化槽は、し尿のみを処理する単独処理浄化槽を設置している世帯からの処理水中の汚れの量が一人一日あたりBODで32gであるのに対して、高度処理型では2gにまで処理されるので、その処理能力は16倍にもなります。
同事業での浄化槽の設置は、町営浄化槽指定工事店(表①参照)が行っていますので、単独処理浄化槽やくみとり式便所からの設置替えをお考えの方は、一度、工

事費用の見積りなどを指定工事店にご相談ください。
なお、町営浄化槽を設置する場合、表②にある浄化槽設置分担金が必要となります。
町では、きれいな水環境を守っていくために、町営浄化槽への設置替えを推進していますので、設置スペースや放流先など、町営浄化槽設置についての疑問点などは、お気軽に環境衛生課までご相談ください。
▼詳しくは、役場環境衛生課(☎33-0338)までお問い合わせください。

表① 町営浄化槽指定工事店名簿

事業者名	電話番号
アクア設備	32-2676
丸玉水道	22-4908
(株)仲西水道工事店	31-7236
(株)協和水道設備商会	22-6067
栗山水道	32-3284
南紀プロパンガス(株)	21-3636
前地水道工業所	32-2102
谷口設備	32-1785
(有)山口浄化槽工業所	22-3805
畑野水道	32-3526

※順序は、受け付け順。

表② 浄化槽設置分担金の額

浄化槽の種類	分担金の額
5人槽	165,500円
7人槽	208,340円
10人槽	276,800円

※11人槽以上の使用料については、役場環境衛生課までお問い合わせください。

※分担金には、7条検査費用8,000円が含まれています。

高度処理型浄化槽で町の水環境を保全しましょう

シリーズ 浄化槽
きれいな川を 未来に残そう
その135

Purified

Police 紀宝警察署 からのお知らせ

11月25日~12月1日は、犯罪被害者週間です

もし、あなたの周りに犯罪などの被害で悩んでいる方がいれば、犯罪被害者のための下記の相談窓口にご相談ください。

みえ犯罪被害者総合支援センター

- ◆相談電話 059-221-7830
月~金(祝日を除く)
午前10時~午後4時
- ◆FAX 059-227-4755
- ◆HP <http://shien.sub.jp/>

—— 紀宝警察署(☎33-0110) ——

Resources ごみは資源 のコーナー

使い捨てライターの出し方

ごみ収集車がガスの残ったライターを回収した場合、収集車内でガス漏れが発生し、火災の原因になる恐れがあります。

ライターを捨てる時は、必ずライター内のガスを完全に使いきってから出すようにしてください。

お願い♪

ガスが入っているライターは、ライターだけを入れたごみ袋に「ガス残留」と分かりやすく明記して、「資源にならないごみの日」に出してください。



—— 役場環境衛生課(☎33-0338) ——

Eco

シリーズ ストップ地球温暖化 その113

家庭でできる温暖化対策

~できることから始めよう~

今月のテーマ **電気ポット**

お湯を沸かし、なおかついつも適温に保温してくれる電気ポット。しかし、沸騰時はもちろん、保温している時にも電力を消費しているの、小さくても多くの電力を使用しています。沸かす量、保温しておく量を少なくしましょう。水の量が多ければ、それだけ電気代がかかるので、電気ポットに入れる水の量は、2回使う量くらいにしておきましょう。保温温度は低めに設定して必要な時はその都度再沸騰させましょう。
▼詳しくは、役場環境衛生課(☎33-0338)までお問い合わせください。



保温は低めの温度で

使用しない時はプラグを抜く

ポットに1%の水を入れ、沸騰させ、6時間保温状態にした場合とプラグを抜いて保温しないで再沸騰させて使用した場合

年間削減効果	年間節約金額
電気 107.45 kWh CO ₂ 37.6 kg	約2,360円

【出典：財団法人省エネルギーセンター/家庭の省エネ大辞典】